

# 屋台、 海を 臨む。

2DAYS

浜村温泉 - 倉吉・県立美術館間  
屋台の人力運搬大作戦

令和7年

3月15日 [土]  
午前9時 - 午後6時

3月16日 [日]  
午前9時 - 午後2時

※終了時刻は、状況に応じて変更する場合があります。



## 【主な日程・概要】

3/15、8:45 鳥取市気高町浜村「ヤサホーパーク」に現地集合

3/16、8:45 湯梨浜町 松崎駅周辺に現地集合

- ルートは、以下のマップの通り。
- イベント当日の途中参加に関するご相談については、お電話でお尋ねください。- 080-2926-9571 ※イベント開催時間のみ通話可能。
- ▶車でお越しになる場合は、出発地点・到着地点付近の駐車場をご確認の上、各自で駐車場を確保していただくよう、お願いいたします。
- ▶緊急時に備え公用車も常時しますが、原則送迎等はいたしませんので、予めご了承ください。

※ご不明・ご心配な点がある方は、事前にご相談ください。



3月30日に鳥取県立美術館が開館します。鳥取県は、そのオーブニングに花を添えるべく、手づくりのパレードを催そうとする企画を、宮原翔太郎氏をゲストに迎え約2年もの歳月にわたり展開してきました。このプロジェクトもいよいよ佳境を迎えて、今までに例の見ない狂氣のイベントを開催します。現在浜村温泉にある大型の「屋台」を人力で曳いて、倉吉市の県立美術館まで運ぶという、その距離およそ27km。果たして無事にゴールに辿り着くことができるのか?集え、兵(つわもの)たち!

鳥取県立美術館の開館に向けた「アートの種まきプロジェクト」の一環として、宮原翔太郎率いるメンバーとともに「屋台、海を臨む。」を実施します。2025年の開館記念パレードの実現のために、かつて吉岡温泉町の花湯祭りで使われていた「屋台」(=山車、この地区では「屋台」と呼んでいた)を譲り受けことになり、2024年7月に吉岡温泉から浜村温泉までの約13.1kmの道のりを、この屋台を曳いて移動しました。その続編となる企画が、スケールアップして帰ってきます! 今回も山あり谷ありの行程ですので、沢山の手とパワーが必要です。みなさまの参加を、心よりお待ちしています!

## お申込みフォーム



フォームでのお申込は、3/14の17:00まで

## [持ち物・注意事項等]

### ◎必ずご確認ください

- ◆防寒対策を各自でお願いします。また曳き手の方は、軍手をご持参ください。
- ◆初日に終日参加される方は、昼休憩ポイントを予定しています飲食店をご利用いただくか、昼食をご持参ください。
- ◆移動の経路途中にトイレがありませんので、予めご了承ください。
- ◆駐車場の確保や現地への送迎については、各自で行ってください。



国道9号線(自動車専用道路ではない)を通るルートで、日本海と東郷池を眺めながら、倉吉市の鳥取県立美術館へと向かう予定です。

※発着地点周辺のルートは、当日の状況に応じて変更する場合があります。



アーティスティック・ディレクター|宮原翔太郎(みやはら・しょうたろう)

1990年東京生まれ、香港育ち。2014年より空き家を改修しながらそこに住み着き、パーティーをし続けることでその場所に新たな価値を持たせる「バーリー建築」の活動を東京の渋谷にて開始、以後バーリー建築研究の第一人者として全国を放浪する。その後鳥取県に定住し、公共性の高いスペース「喫茶ミラクル」を運営しながら建設業を営む。より理想の建築に近づくために2019年令和建設を旗揚げする。「曇天野外」などのイベントの企画も手がけている。2021年3月には、当館主催の「ミュージアム・サロン#11」に登壇。新しくできる美術館について意見交換した。昨秋の鹿野芸術祭2022では、「おでん屋 水笛」を展開し、ユーモアを交えながら人が集う仕掛けづくりの企画・実践を続けている。現在、美術館開館時に手づくりの「パレード」を催そうとする企画「Parade On Parede」を展開している。